直腸膣瘻および肛門括約筋機能不全に対するコロナ禍における受療行動の変化についての研究

【研究課題】
直腸膣瘻および肛門括約筋機能不全に対するコロナ禍における受療行動の変化について

【研究対象】
2020/4～2021/9 および 2023/5～2024/10、2024/11～2026/4 のそれぞれ 18 ヶ月の 3 期間に初診で受診された患者さんの診療情報。病名、病悩期間、居住地を匿名化し集計する。

【研究目的】
コロナ禍により、癌などの悪性疾患で受診控えにより進行、悪性化が見られたという報告があるが、急性炎症を伴わない良性疾患である直腸膣瘻および肛門括約筋機能不全で当院を受診された患者さんの病悩期間や居住地がコロナの時期と現在で変化しているかどうか、カルテ上の診療情報を匿名化して調査することで、コロナ禍による受療に制限が生じていたかどうか検証し、今後新たなパンデミックが生じたとき、良性疾患の診療においてより適切な医療提供体制を構築する一助とするもの。

【公表・発表予定】
検討の結果は 2027 年を目処に英語論文として報告予定。

【データ取扱責任者】理事長・外科部長 村上耕一郎

【お問い合わせ先 】理事長・外科部長 村上耕一郎 tel: 075-955-1151

ご自身の診療情報利用の中止をご希望の場合、上記お問い合わせ先にご連絡ください。
ご氏名、生年月日、受診年度をお伝えいただき、本人確認がとれ次第データ削除します。

医療法人 総心会
長岡京病院